

沖縄県こども計画(仮称)策定 に係る県民アンケート

2024
8/31
まで

「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現のために
あなたの声を聞かせてください。回答はこちらのQRコードから→



【アンケートの対象者】

沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳のこどもを持つ保護者



アンケートの趣旨

沖縄県では、社会の一番の宝であるこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現を目指し、これまで取り組んできた「子どもの貧困対策」を含むこども施策を一体的に取りまとめた「沖縄県こども計画(仮称)」を策定する予定です。

その計画の策定にあたり、計画の対象となるこども・若者及び保護者の意見をこども計画へ反映させるための取組として、県民アンケートを実施しております。沖縄県のこども達の未来がより良く明るいものになるよう、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。



沖縄県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまん

1. こどもが意見を表明し、社会に参画する機会が確保される「こどもまんなか社会」
2. すべてのこども達が生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って健やかに成長していける「誰一人取り残さない優しい社会」

沖縄県の現状と課題

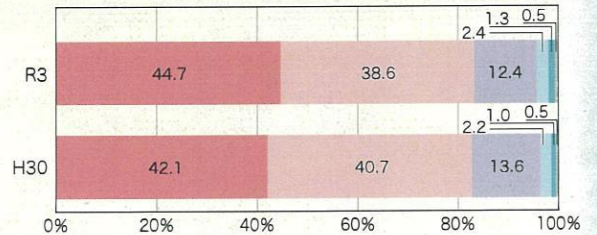
01 県民の自己像

沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったか

○「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」を合わせ、約8割の県民が沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと感じています。

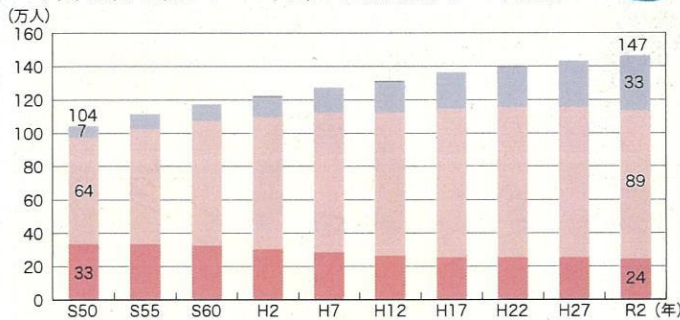
出典：第11回県民意識調査(令和3年8月)

- 非常に良かったと思う
- まあまあ良かったと思う
- どちらとも言えない
- あまり良かったとは思わない
- 良かったとは思わない
- 無回答



02 人口の現状

沖縄県の総人口・年齢3区分別人口の推移



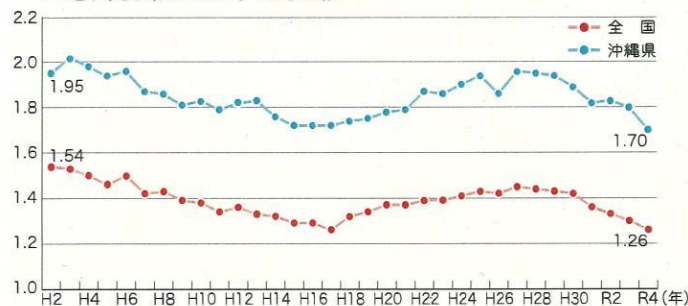
総人口に対する割合 (%)

	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
14歳以下	31.4	29.4	27.4	24.7	22.1	20.2	18.7	17.8	17.3	16.6
15~64歳	61.7	62.8	64.0	65.3	66.2	65.9	65.2	64.8	63.0	60.8
65歳以上	7.0	7.8	8.6	10.0	11.7	13.9	16.1	17.4	19.7	22.6

○沖縄県の人口は、146万7千人です。年齢別の人口構成をみると、生産年齢人口(15~64歳)の割合は、平成7年以降減少に転じ、令和2年に60.8%となっています。

出典：国勢調査(昭和50年~令和2年)

合計特殊出生率の推移

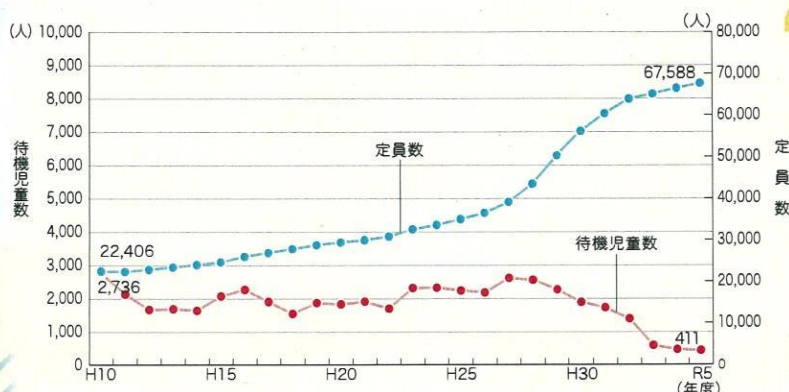


○沖縄県の合計特殊出生率は、令和4年全国平均(1.26)を大きく上回り1.70となっています。平成元年以降は、人口置換水準である2.07を下回る状況が続いています。

出典：人口動態調査(厚生労働省)

03 子育て環境の現状と課題

保育所等定員数、待機児童数の推移



○令和5年4月現在、保育所等数は892か所で定員数は6万7,588人です。多くの市町村において一定程度整備が進められてきた結果、待機児童数は411人と8年連続で減少しています。

出典：沖縄県こども未来部子育て支援課



なか社会」とは…



- 3. 将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会
- 4. 安心して子どもを生み育てることができ、仕事と家庭の両立と所得向上が実現できる社会

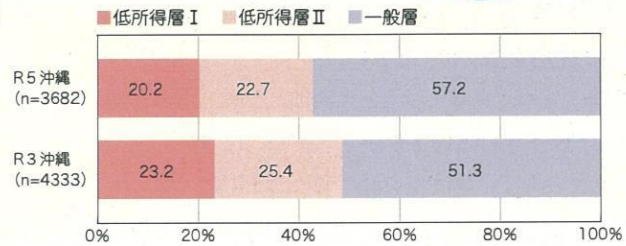
こどもの貧困を取り巻く現状と課題

04

困窮世帯の割合(等価可処分所得による分類)

○沖縄県における、令和5年度の困窮世帯の割合は20.2%です。
 貧困線未満となる低所得層Ⅰは、令和3年度沖縄県調査の23.2%から3.0ポイント減少しています。

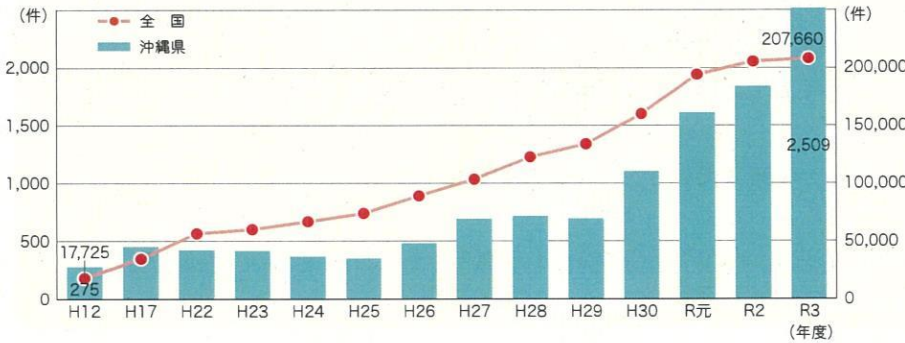
出典:令和5年度沖縄子ども調査(0~17歳)



こども若者を取り巻く現状と課題

05

児童相談所での児童虐待相談対応件数の推移



○沖縄県の児童相談所における児童虐待の相談対応件数は、児童虐待防止法が施行された平成12年度(275件)と比べ、令和3年度は約9.1倍の2,509件まで増加しています。

出典:福祉行政報告例(厚生労働省)

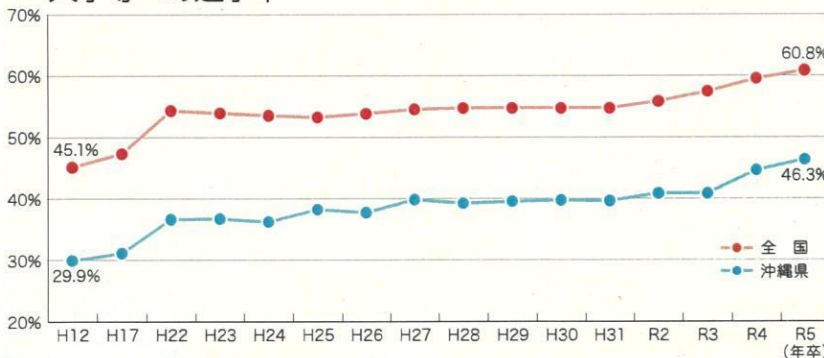
中学校卒業後の進路未決定率



○中学校卒業後の進路未決定率は、平成12年3月卒業生5.5%から、令和5年3月卒業生1.4%と減少傾向にありますが、全国の2倍近い状況です。

出典:学校基本調査(文部科学省)

大学等への進学率



○令和5年3月卒業生の大学等進学率は、全国が60.8%、沖縄県が46.3%となっており、14.5ポイントの差がありますが、進学率は上昇傾向にあります。

出典:学校基本調査(文部科学省)



沖縄県こども計画(仮称)策定に係る県民アンケート

回答はこちらのQRコードから
2024年8月31日まで



<https://questant.jp/q/kodomoplan>

アンケートの対象者／沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳のこどもを持つ保護者

問1. あなたの住んでいる圏域を教えてください。

1. 沖縄本島北部圏域 2. 沖縄本島中部圏域 3. 沖縄本島南部圏域 4. 沖縄離島圏域

問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳
6. 50～59歳 7. 60歳以上

問3. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問4. あなたにお子さんはいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問4-1. 問4でお子さんが「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたのお子さんの人数を教えてください。

問5. あなたに兄弟姉妹はいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問5-1. 問5で兄弟姉妹が「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたの兄弟姉妹の人数を教えてください。(ご自身を含んだ数でお答えください)

問6. あなたは沖縄の社会が「結婚、妊娠、こども、子育てに温かい社会の実現に向かっていて」と思いますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは沖縄の社会が「こどもまんなか社会の実現に向かっていて」と思いますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたは沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するための施策として何が重要だと考えますか。次の中から、あなたの考えに当てはまるものすべてを選んでください。

また、項目以外の意見がありましたら「その他」にお書きください。

- | | |
|--|--|
| 1 こども・若者が権利の主体であることの社会全体に対する周知・啓発 | 14 給付型奨学金 |
| 2 こどもを安全・安心して育てられる環境の整備 | 15 雇用の安定 |
| 3 性や妊娠に関する正しい知識の普及 | 16 結婚を希望する人へ出会いの場をつくる支援や結婚した時の新生活への支援 |
| 4 障害のあるこども・若者、医療的ケア児等への支援 | 17 生活困窮者世帯への支援 |
| 5 保育環境、保育サービスの充実(保育所、一時預かり、病児保育など) | 18 ひとり親家庭への支援 |
| 6 保健医療体制の充実(不妊・不育治療含む) | 19 労働環境の改善、企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策の充実 |
| 7 小児医療の充実 | 20 教育費の支援、軽減 |
| 8 安心して過ごせるこどもの居場所の設置
(こども食堂、学童保育、児童館、児童センターなど) | 21 男性の育児休業の取得促進 |
| 9 子育て家庭などの育児不安に対する相談・援助や親子が気軽に集うことができる場の提供 | 22 育児休業中の所得保障の充実 |
| 10 相談体制の充実(いじめ、不登校、中退予防、就労・復学支援など) | 23 3人以上のこどもが居る世帯(多子世帯)への支援の充実 |
| 11 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談・支援体制の充実 | 24 こどもの貧困解消に向けた支援員の配置 |
| 12 ヤングケアラーへの支援 | 25 県民運動としてのこどもの貧困解消に向けた取組の推進 |
| 13 学習支援 | 26 その他() |
| | 27 特になし |

問9. 問8で選択した中から、とくに重要だと考えるものを3つまでを選んでください。

問10. あなたが考える、沖縄県のこども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください。

問11. 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください。

アンケート内容(県計画)に関するお問い合わせ先

◎ 沖縄県こども未来部こども若者政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2100

アンケートフォームに関するお問い合わせ先

一般社団法人Co-Link(コリンク)

〒901-2134 浦添市港川11-17-3-203 TEL:098-943-8938
Mail: kodomoplan@co-link.okinawa



配慮が必要な子ども・若者の 意見表明

令和6年11月 沖縄県子ども未来部子ども若者政策課

調査の概要

調査の目的

沖縄県子ども計画（仮称）の策定にあたり、計画の対象となる子ども達の意見を計画へ反映させるための取組として、学校を通じて参画の機会を作ることが困難な子ども達や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要な子ども達について、意見表明、社会参画の場づくりを実施しました。

調査対象者数

県内支援団体、施設（11か所）で支援を受けている子ども・若者 64名

※教育庁の県立学校日本語支援事業の支援対象者14名（外国につながる子ども達）を含む

調査方法

学校を通じて参画の機会を作ることが困難な子ども達や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要な子ども達についても、日頃から子ども達へ寄り添い、支援をしている関係者（心理士や支援員等）の協力を頂きながら、アンケートによる意見表明を実施した。

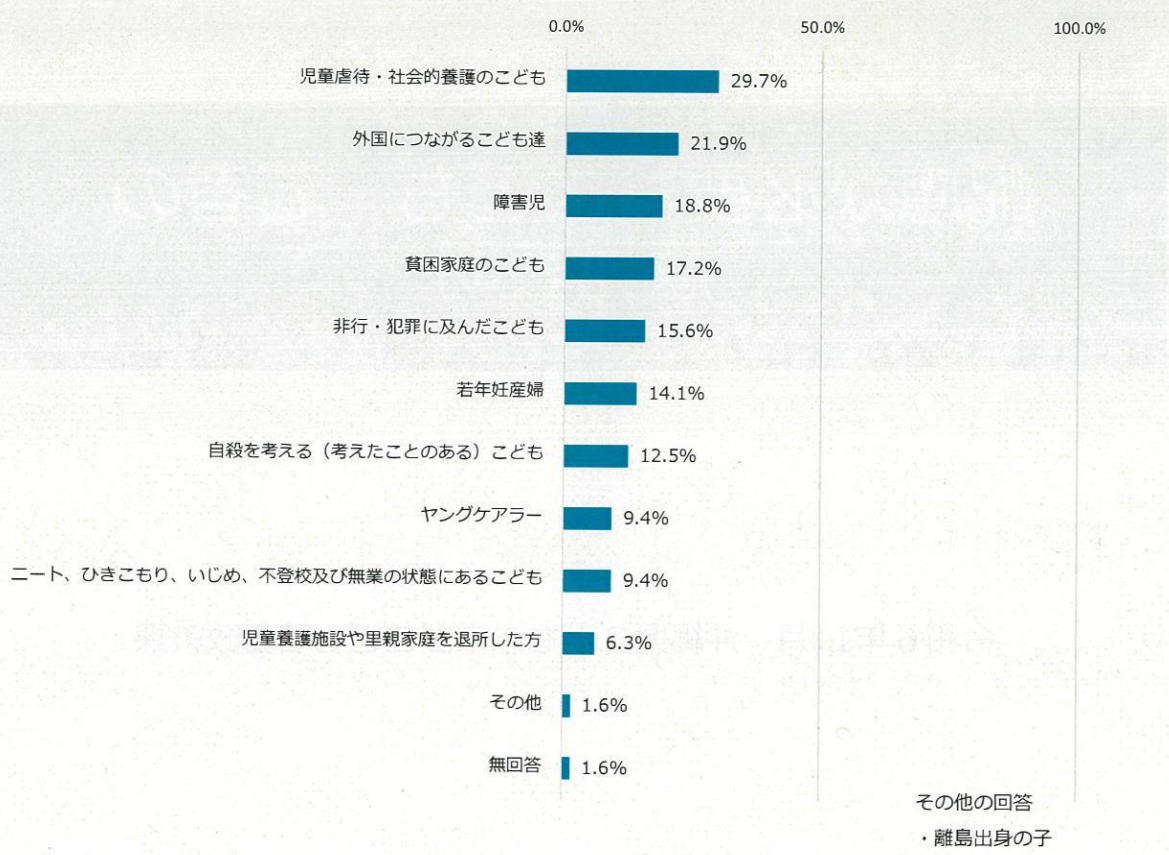
※外国につながる子ども達へのヒアリングは、県立学校日本語支援事業の支援員による別アンケートフォームを使用

※令和5年度に実施した「青少年の抱える課題や支援策に関する調査」（以下、「青少年調査」という。）における意見も活用

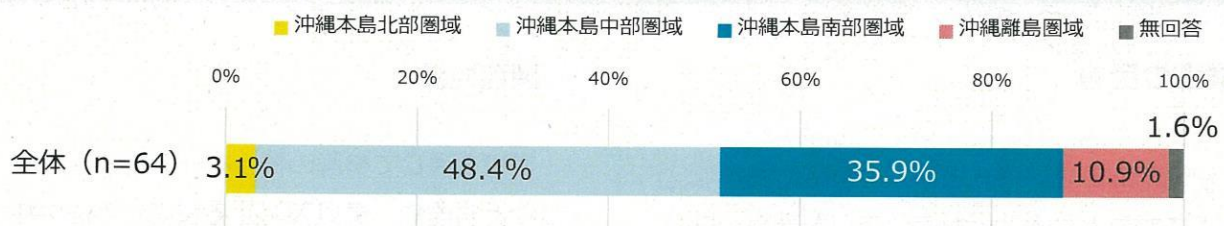
実施時期

2024年8月23日～9月30日

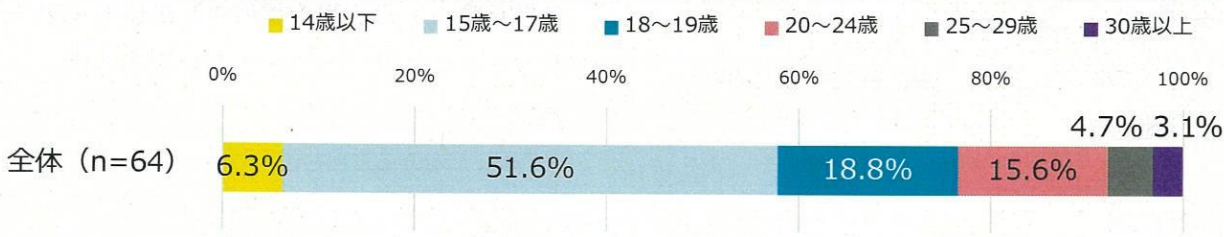
【調査対象者の属性／支援員回答】
 アンケートに回答していただいたことについて、お答えください。その子が置かれている状況や抱える課題等について、該当するカテゴリーにチェックをしてください（複数回答）（n=64）



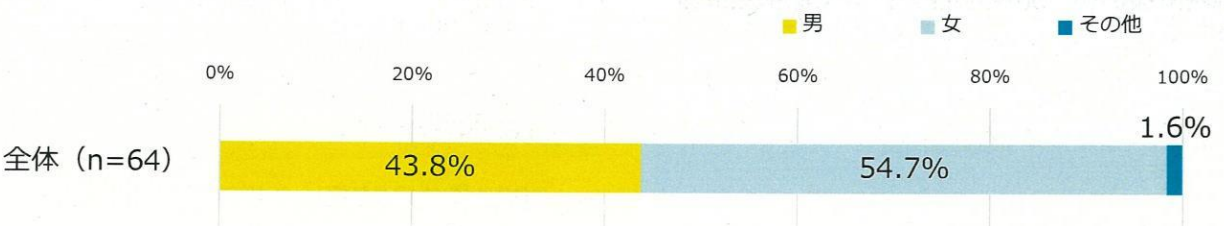
問1 あなたの住んでいる圏域を教えてください



問2 あなたは何歳ですか



問3 あなたの性別を教えてください



問4 現在、あなたががんばっていることやチャレンジしてみたいことはなんですか

勉強・資格

- ・高卒認定に向けての勉強
- ・頑張っていることは受験に向けての勉強、苦手科目の克服。・運転免許取得
- ・漢字検定2級にチャレンジしたい。
- ・タガログ語を独学で勉強している。TOEICも受けたいし、勉強を頑張りたい。
- ・デザインやWeb関係の仕事を目指して、Webの勉強を頑張っている。

学校

- ・毎日学校行くこと
- ・色々な人と話すことががんばっています
- ・高校卒業することが目標
- ・パソコンに慣れていきたい

仕事

- ・仕事をいっぱいして、いっぱいかせぐ事
- ・仕事を休まないで毎日行くこと
- ・別の業者も仕事しやすいように、考えて組む（足場を？）ようにしている
- ・バイト先のボスに言われたことをしっかりやる
- ・復職すること

生活

- ・アパート探し
- ・お仕事と育児の両立を頑張っています。チャレンジしたいことは貯金をして三人で暮らしができるようにしたい
- ・自分の心を鍛えたい
- ・イライラしないようにがんばっている。

運動

- ・バドミントンをがんばっている。チャレンジしてみたいことは、バドミントンで県ベスト3までいくこと。
- ・学校の体育の時間を利用して体育館に併設されている小さいジムに行って、主に脚を筋トレしている。
- ・クラブチームに所属してサッカーの練習を頑張っている。

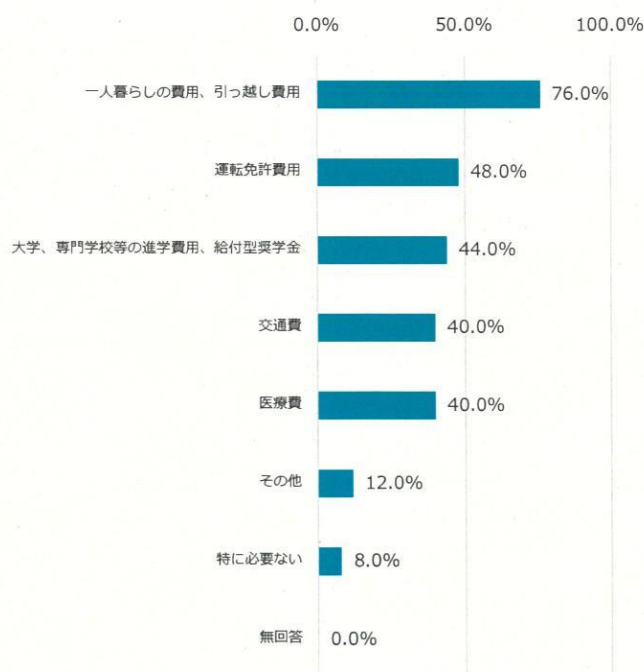
その他

- ・チャレンジしたいことは、アイドルのライブに行ってみたい。展望台や東京ディズニーランドに行って初めてのワクワクを味わいたい。県外に試しに1ヶ月ぐらい住んでみたい。県外で花火を見てみたい。
- ・中学の頃からの作詞・作曲、またギター練習をし、昔からのあきらめられない夢のために、ギターならコードアレンジなどやっている。
- ・がんばっていることは自立に向けて考えること。チャレンジしてみたいことは陶芸とか。
- ・話すことが苦手なので、自分なりに沢山話すように頑張っている。
- ・沖縄の文化を学び、もっと日本語を頑張る。
- ・Webサイト作り（法律も勉強中）

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）

※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

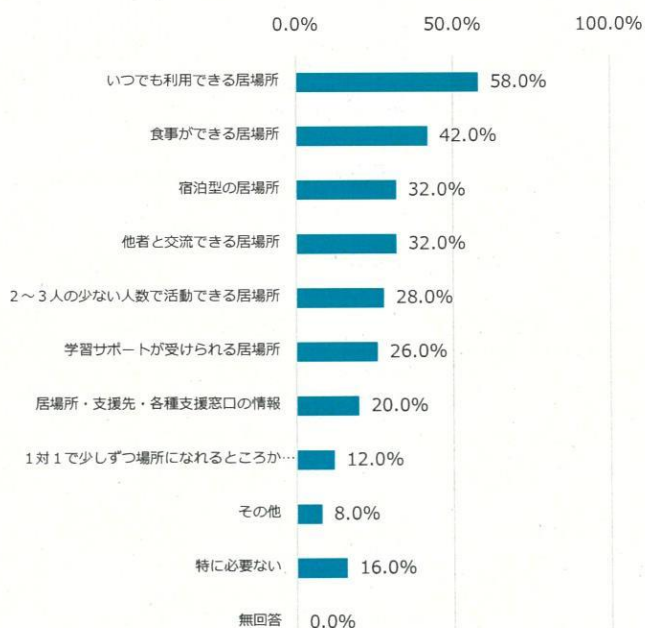
経済的な応援



【 その他の回答 】

- ・ミルク代、オムツ代等の支援や配布（困窮世帯に限定せず）
- ・学校の給食費や教材費の免除
（教科書の支給はあるが、タブレット端末にスキャンで読み込むために、同じ教科書を買って切り離して利用していた）
- ・生活物資の支援よりも自由に使えるお金、クーポン
- ・兄弟姉妹の修学旅行費用、部活の費用

居場所

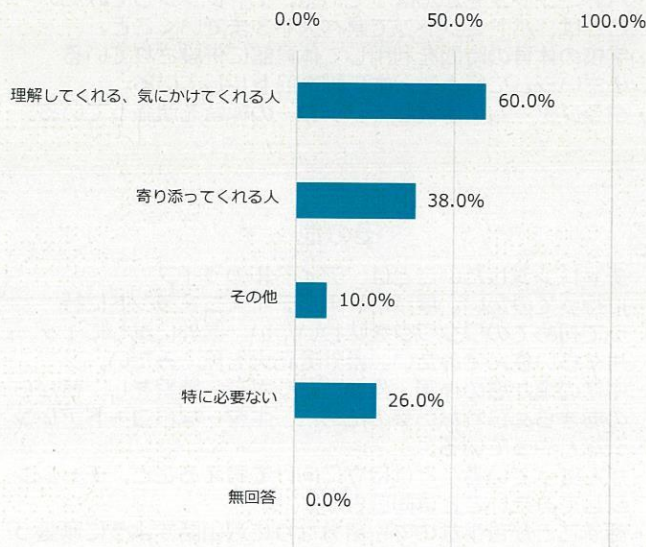


【 その他の回答 】

- ・金銭管理の相談ができる居場所
- ・今の施設以外の広い居場所があったら良い。好きな事ができる場所
- ・体を動かす事が好きだから、好きな事ができる場所があるといい
- ・役所以外で相談窓口としての居場所
- ・今「使いたい」又は「使える」サービスや施設の情報を気軽に提供してもらえたい
- ・居場所までの送迎支援
- ・似たような経験をした人達が集まる場所
- ・子どもを育ててくれる人が居て、眠れる場所
- ・若年妊産婦だけでなく、初妊産婦向けの居場所

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

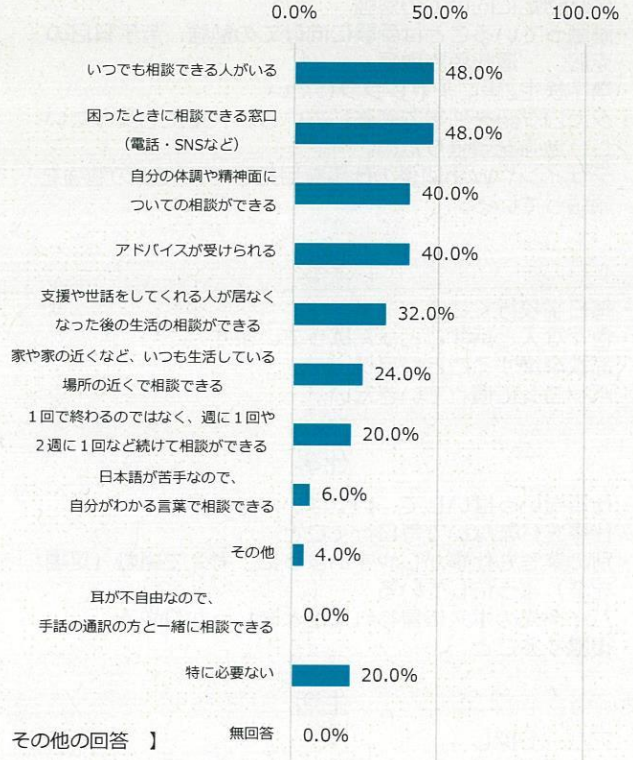
心理的なサポート



【 その他の回答 】

- ・聴いてくれるだけで十分
- ・受容・傾聴・寄り添い・声かけ・気配り
- ・育児情報をくれる人
- ・介助が必要な時、段差とかがあった時にサポートしてくれたら（気にかけてくれたら）嬉しい
- ・無理に何もかも聞き出さそうとしない人
- ・頼りになる人
- ・一人暮らしで何かあったとき頼れる人

相談体制

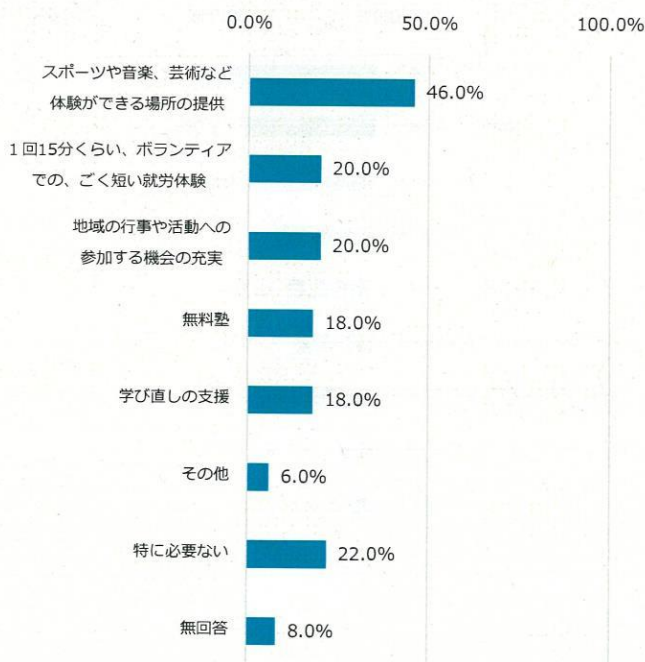


【 その他の回答 】

- ・家に来てもらって相談できたら助かる
- ・車をのんでいて、排便が難しい時があるから相談したい
- ・日本語や日本の習慣が解らない親のケアが大変で、学校に行くのが辛い時期があった。親のケアを誰かにお願いしたい。
- ・頼りたいときだけ頼らせて欲しい
- ・同じ悩みを持つ同世代で相談出来る場が欲しい

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

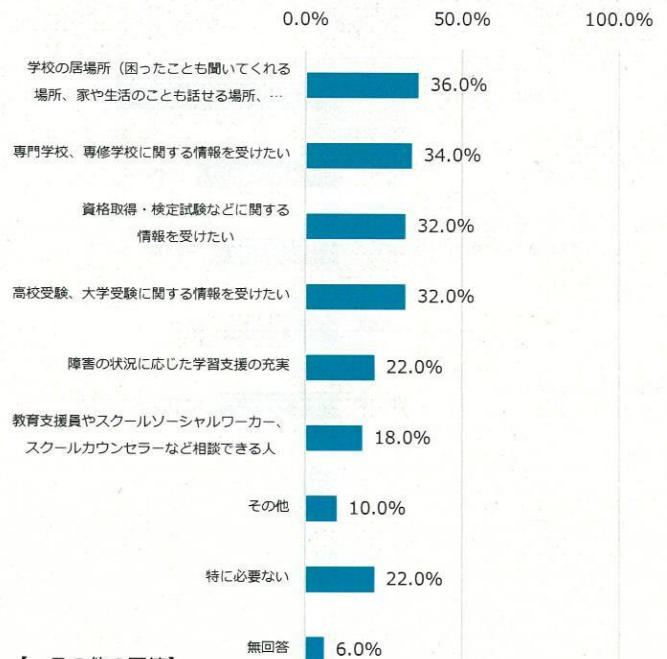
学習・体験



【 その他の回答 】

- ・タブレットでの絵の描き方を教えて欲しい。ドラマの撮影現場を見たい。
- ・障害を持っていても通える塾が欲しい
- ・地域行事に参加するために事前情報が知りたい
- ・人とふれあう事が好きだから、短時間の就労体験がしたい
- ・勉強で解らない所をLINEで聞けるようにして欲しい

学校

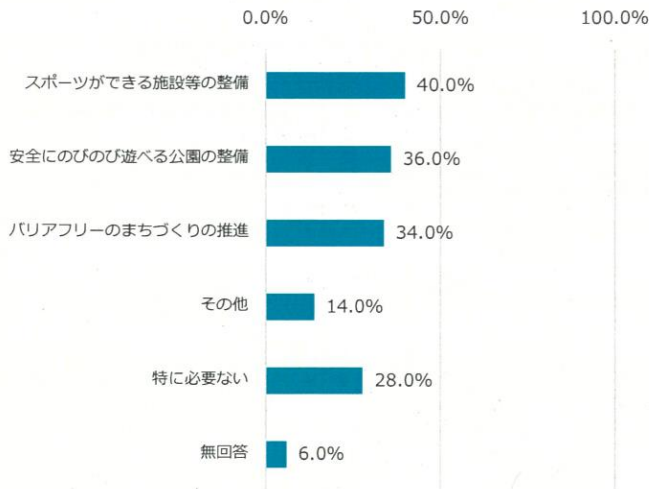


【 その他の回答 】

- ・自分の夢に関する情報を提供して欲しい
- ・進学に関する情報を丁寧に教えて欲しい
- ・授業中に質問しやすい環境
- ・部活をしておけば良かったと思う
- ・教育支援員など相談できる人が毎日いて欲しい
- ・一緒に教科書を読んだり、日本語で解らないところを英語に訳して欲しい。日本語を間違えたり解らない時は教えて欲しい。
- ・いじめ対応で先生以外の相談先、学校外の第三者の介入
- ・学校でもゲームを介して交流が出来ればよかった
- ・話の出来る教師

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
 ※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

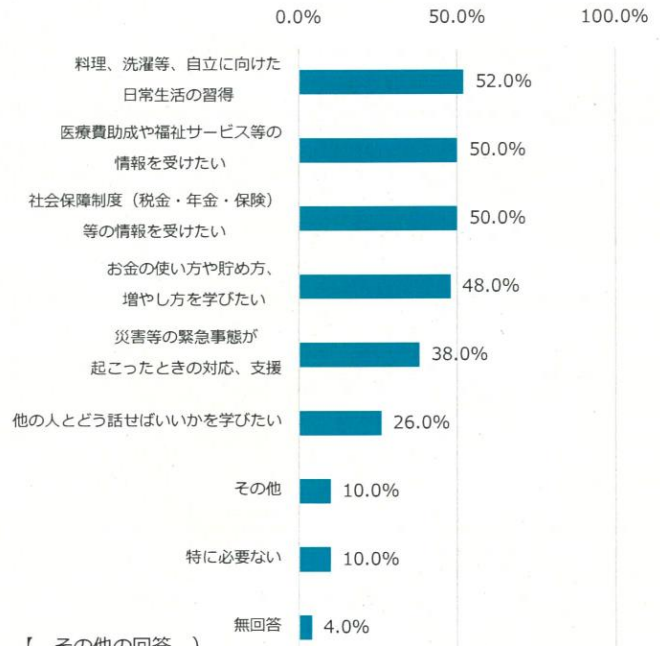
環境整備



【 その他の回答 】

- ・緑が多い、自然豊かな環境
- ・県総合運動公園のようなのびのび遊べる公園が増えて欲しい
- ・障害者に配慮された運動施設（サアビリティーズうらそえの様な）が増えて欲しい
- ・ゴミを最低限に減らす取組
- ・犬と散歩できる場所
- ・ネット環境の整った場所
- ・バリアフリー情報が手軽にみれるアプリが欲しい
- ・スロープが沢山欲しい。1~2cmの段差でも車輪が乗り越えられない時があるので、段差を減らして欲しい。段差が小さい歩道の整備
- ・車イス用トイレを増やして欲しい

生活サポート

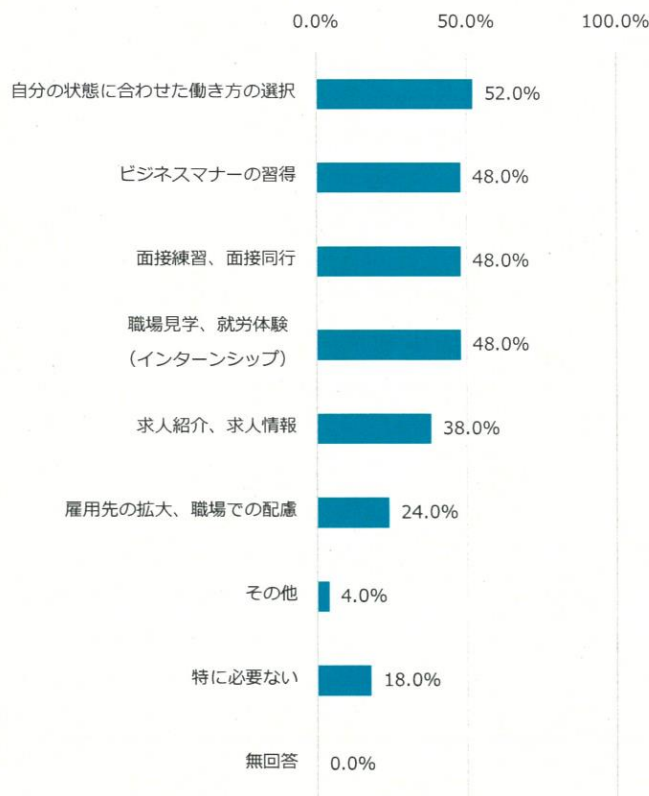


【 その他の回答 】

- ・必要な時にボタンを押すと、直ぐにサポートに来てくれるような仕組みがあったら良い。あと介ゴ用ロボットとかヘルパーとかあったらトイレとかお父さんが居なくても出来るからいいな
- ・役所の手続きについて教えて欲しい
- ・引っ越しの手続き等の手伝い、家探し
- ・ヘルパーなど、一緒に行動できる人がいたら良い
- ・他の人と話すきっかけをつくって欲しい
- ・バス運賃補助の手続きをサポートして欲しい

問5 今のあなたにどんな応援（支援）があったらうれしいですか（複数選択）（n=50）
 ※外国につながる子ども達及び青少年調査からの意見は「その他の回答」部分へとりまとめた

就労サポート

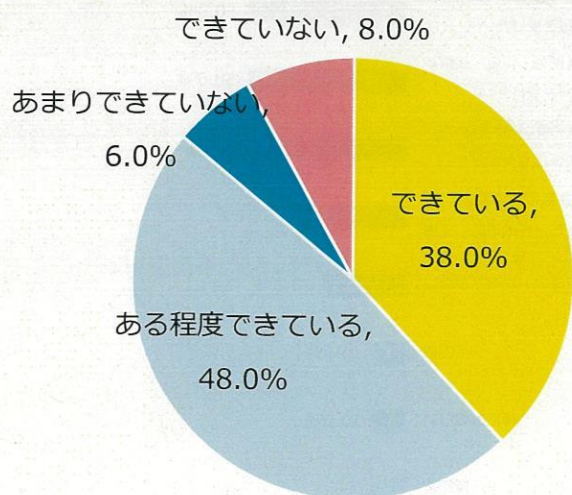


【 その他の回答 】

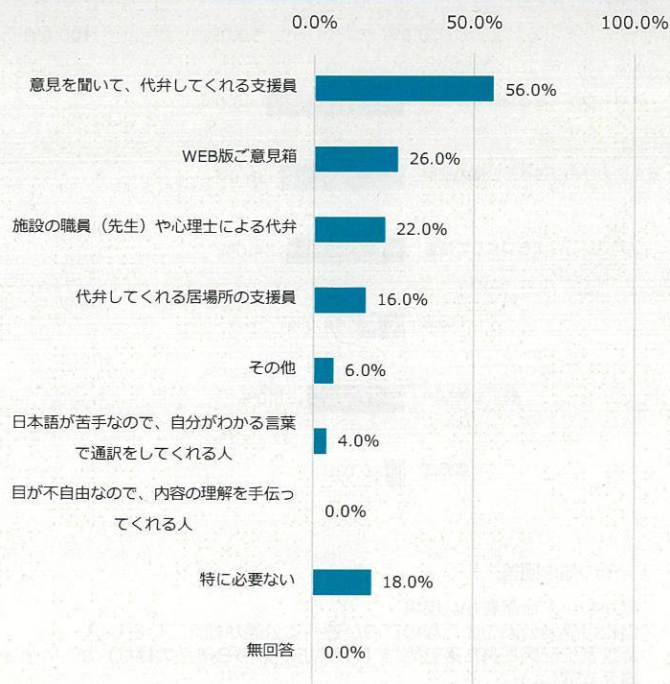
- ・自分の事をわかってくれる人が沢山いる場所で働きたい
- ・何でも相談できる環境があったら良い
- ・母親（若い親・子どもがいる親）への就職活動の支援



問6 あなたの声や意見を周りの大人などに伝えることは出来ていますか (n=50)



問7 あなたの声や意見を伝えるために、どんな仕組みや環境があったらいいと思いますか (n=50)



その他の回答

- ・決めつけずにしっかり話を聞いて、その上で話せる人がいて欲しい
- ・職場で伝えて、代弁してもらっている
- ・代弁は必要ないが、話を最後まで聞いて、その話をまとめてくれる人がいて欲しい

問8 その他、大人に伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いてください

勉強・習い事

- 勉強(数学)を教えてほしい。
- ダンス教室に通いたい。おしゃれを楽しみたい。着物を着てみたい。
- 専門学校に行けて、不安さえなければ良い。

暮らし

- こどもを1人の人として扱ってほしい。こどもだからって下に見ないでほしい。
- もっと、こどもに寄り添ってほしい。
- ゲーム機をOKにしてほしい。一人っ子と兄弟姉妹のいる人で寮を分けて欲しい。中学生もスマホを持ちたい。施設のみんなで旅行したい。冬の北海道とユニバに行ってみたい。
- パソコンが欲しい。以前は音楽ライブにも行けていたので、また行けるようになりたい。ペンが欲しい。
- 特にはないですが、充実した毎日を送らせてもらっている周りの方々に感謝して、今後とも限りないサポートをお願いしたい。
- 充実した毎日を送っている。話すことが好きだからもっと活かせる所があるといいなと思う。
- トラウマを甘く見ないで欲しい。その場しのぎではなくて、その先、将来どうなるかまで考えて必要な支援や治療をこどものうちにしてあげて欲しい。根性論だけでどうにかするのはやめてあげてください。きっとその子達は大人になる準備をする前に普通のこどもである体験が必要です。AC(アダルトチルドレン)のまま、手を離さないであげて欲しい。
- 周りの人が思うより自分の精神状態は酷い状況です。双極性障害にかかったのは成人になってからなので、半分以上は健常者でした。このツラさは健常者が理解するには限界があると思う。

提案・要望など

- 今は集団生活だけど、もう少し人数が少ない環境で生活したい。
- 体を動かす事が好きなので、スポーツや運動できる環境（施設ジムとか）があれば良い。
- 大人やこども未来部の皆さんとの、話し合いの場を設ける事が大事だと思う。
- こどもだけでなく、その場で働く職員の意見も積極的に取り入れ、大人が働きやすい環境を整えた方が、こどもも過ごしやすくなる。
- 保育園に早く預けられるようにして欲しい。抽選漏れがなくなるよう、保育所を増やして欲しい。
- 電話での相談窓口は大体混みあってて、つながらないので意味がない。
- 若年結婚した方に対する支援（例：引っ越し費用の一部支援等）、少しでもいいから経済的な支援があればとても助かる。引っ越し費用について、今は県内市町村数か所しかないけど、県内全域になって欲しい。
- 丁寧なよりそいが欲しい。
- 離島にも今通っている施設（養護施設や里親の元を出た若者の支援）を作って下さい。
- 誰かと絶縁するための支援をして欲しい。
- 若年妊産婦の支援をこどもが6歳になるまで利用出来るようにして欲しい。
- 「支援」と言われたら頼らない。

